

- ・学部、学年部内の教育課程上の教科、領域、合わせた指導の欄が設けられている。
- ・目標は、この一年間の指導で達成できると考えられるものを書くこと。
- ・指導内容表等を参考にして、できるだけ具体的に書く。

パソコン使用の場合は、明朝体で記入すること。

平成××年度 個別の指導計画：目標

学部・学年・組	小学部6年△組	氏名	宮城野 花子	担任	鈴木 三郎
今年の目標	I 身 II 日 III 見				
指導の形態	・「生きる力」を高めるための観点を踏まえて、保護者の願いや児童生徒の実態から、年間を通して重点的に指導する内容について、具体的に目標を設定する。 ・「個別の教育支援計画」の「今年の目標」と一致させる。 ・目標は小学部は「体のこと」「生活のこと」「人との関わりのこと」 中学部・高等部は「健康・安全」「体力・身体機能」「生活習慣」「集団参加・社会参加」「余暇」「働く力」を念頭に置いて、設定する。				
日常生活の指導	・ゆっくりと食事をすることに慣れる。 ・尿意を感じたら、自分からトイレに行く習慣を身に付ける。	関連 I, II II, III	・食べるペースや一口の量を教師側で調整しながら、ゆっくりと食事を進めていきます。 ・初めのうちは、休憩時間ごとに教師側でトイレに誘導して、徐々に自分でトイレに行く経験を重ねていきます。	・実際の学習状況を考慮して、具体的に記入する。 ・文章の末尾は「～です。/～ます。」で表記する。	
生活単元学習	・制作や調理を通して、手や指などを十分に使う活動を行う。 ・季節の行事や活動に落ち着いて参加する。	I III	・道具や材料の大きさを扱いやすいようにしたり、握る、つまむ、振る等、いろいろな動作を取り入れたりしながら、十分に動かす経験を重ねていきます。	・「今年の目標」を達成させるために設定した「指導の形態別」の目標の場合、今年の目標との関連をI, II, IIIの数字で示す。	
遊びの指導	・教師や友達と関わりながら遊ぶ。	III I	・遊びたいという気持ちを引き出すことができるように、興味関心を生かした遊びの場を設定していきます。	・「・」の下は空欄（ロスペース）を作り、文章の体裁を整える。	
国語	・絵のマッチングができる。	II, III	・はじめは、見分けがつきやすい物から取り組ませていきます。	・各学部で、「平成××年度 個別の指導計画：目標」の様式が異なる。様式は、サーバー内の「教務部」の中にある。また、各学部のフォルダにもあるので、それを使用すること。 ※教育課程に無い「指導の形態」がある場合は、欄を作らない。（削除する）	

に、文字以外の印を取り除きます。

・自立活動の目標の欄には、必ず「時間の指導」における目標を記入する。また、自立活動の年間指導計画を参考にして、「学校生活全般における目標」も記入することができる。

自立活動	・身体の様々な動きを身に付ける。 ・見通しを持って課題に取り組む。	I, II	・手指の機能、手腕のコントロール、あるいは体幹の力、全身のバランス感覚などを高めることができるような課題を設定し、毎日継続して取り組んでいきます。→自分のしたいこと、欲しい物などを教師に伝えることができる場面を設定します。(6/24)
------	--------------------------------------	-------	---

- ・変更や付け足しがあった場合は、右上のとおり、→を用いて訂正文を挿入する。その後、訂正文に下線を引き、変更した日付を、該当の文末に記入する。【例 (6/24)】
- ・部分的な変更は、変更する部分ができるように _____ 線をつけ、脇に訂正したものを入れる。【例 (・・・3まで → 5まで・・・)】
- ・今までどおり、手書きで、朱筆を入れても良い。